

第 140 回 学長定例記者会見

日時：令和 3 年 12 月 24 日（金）11：00～11：30

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F2 会議室

※ テレビ会議システムにより、記者会見の様様を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 東千田校舎 A 棟 1F 会議室

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 「広島大学・学生発スタートアップチャレンジ」を開始

～ 今年度、空き家を活用し、学生が暮らしながらカフェなどにチャレンジできる事業など 5 課題の提案を採択 ～

2. コロナ研究を行う若手医学研究者を対象に「広島ロータリークラブ賞」を創設

【お知らせ事項】

1. 「放射線災害・医科学研究拠点」が国際シンポジウム・ワークショップをオンラインで開催します

2. 総合科学部国際共創学科の学生がインターンシップを体験しました

■ 次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 4 年 1 月下旬

場所： 広島大学 霞キャンパス

令和3年12月24日

「広島大学・学生発スタートアップチャレンジ」を開始
～ 今年度、5課題の提案を採択 ～

本事業は、本年10月22日に立ち上げた「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム（Hiroshima LOVE it Consortium）」事業の一つとして新たに開始したもので、広島大学に在籍する学生／大学院生の持つ、“自由”で“創造的”なアイデアや、起業してみたい！という想いを具現化する取組です。

25課題・計59人から申請があり、厳正な審査の結果、12月13日（月）に5課題を選定しました。今後、1課題あたり最大30万円まで活動費の支援を行い、「株式会社サムライインキュベート」のメンタリングの下、3月末に予定している成果発表会（Demo-Day）を目指して活動していただきます。

学生たちのアイデアが実務家との伴走により更に強固になり、行動力、強靭力、創造力等アントレプレナーシップに必要とされる多くの力が身につくことを期待しています。

本学では、次年度より全ての学生に起業家教育を受講させる予定としていますが、今回のチャレンジは、それらに加えて実践的な場を提供するものです。

引き続き、地域の皆様をはじめ様々な方の協力を経て、総合的な起業家教育を提供していきます。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

学長特命補佐（研究力強化担当）、准教授 小林遼平

TEL :082-424-4313

FAX :082-424-6189

広島大学・学生発スタートアップチャレンジについて

【概要】

11月1日～11月26日	公募実施
25課題、計59人の学部生/大学院生/留学生から応募あり	
11月27日～12月3日	書面審査
12月7日	ヒアリング審査(10課題)
12月13日	5課題採択

【採択課題】

採択課題の事業名や概要は以下の通りです。地域密着型の課題からSDGsに寄与する課題まで、様々な事業を採択しました。

<採択事業名 1>

地方は宝の山！空き家を活用した住み込み型チャレンジショップ事業

地域活動団体 ”縁もゆかりも”

櫻井 紫 文学部 人文学科・フランス文学語学 3年(代表者)

宮本 桃江 文学部 人文学科・日本文学語学 3年

西田舞由子 文学部 人文学科・西洋史学 3年

伊達 成美 文学部 人文学科・文化財学 3年

櫻井 瑠太郎 文学部 人文学科・フランス文学語学 2年

空き家を活用し、学生が暮らしながらカフェなどにチャレンジできる「住み込み型チャレンジショップ」事業です。田舎に暮らしながら事業作りにチャレンジできる学生が増え、大学の学びと連動した社会実装の場を目指します。

<採択事業名 2>

学生向け高度カスタマイズ可能な記念映像制作サービス

康 凱翔 人間社会科学研究科 教育学プログラム高等教育学
博士課程1年(代表者)

葉 茜 人間社会科学研究科 教育学プログラム高等教育学 修士 1年

丁 秀玉 人間社会科学研究科 教育学プログラム高等教育学 修士 1年

劉 菡儀 人間社会科学研究科 教育学プログラム高等教育学 修士 1年

広島大学の卒業生の思い出を、様々な地域の風景写真等と併せて作り上げ、感動を呼び寄せかつSNSにもアップできるショート動画制作サービス事業です。

個人のライフイベント記念事業に対し、地域に密着したコンテンツをもとにしたビジネスであるため、最終的には地域活性化にも寄与します。

<採択事業名 3>

広大生の使わなくなった自転車を利用したシェアサイクル事業

西村 咲野 総合科学部 総合科学科 3年(代表者)

石戸 友菜 総合科学部 総合科学科 3年

平谷 佳子 総合科学部 総合科学科 3年

広大生が卒業などで使わなくなる自転車を回収/改修し、それらを活用するリユース・チャリ・シェア事業です。安易な大量生産・大量消費に対する反感から、個々人が中古品の購入や手持ちの物の修理・補修をより一般的な選択肢とする社会を目指します。

<採択事業名 4>

高校生・広島大学チャレンジツアー
～地方の高校生にも「大学の学び」を届ける～

治田 遥花 総合科学部 総合科学科 3年（代表者）
星岡 駿志 先進理工系科学研究科 物理学プログラム 修士1年

代表者の地元であり、人口最小県の鳥取県の高校生をめぐる大学選びの現状（身近に大学生や社会人の先輩がいない！コロナでオープンキャンパスに行けない！）に目を向け、広島大学を知ってもらうチャレンジツアーを行う事業です。現役大学生や「大学にいる大人」との交流を通して、地域に住む高校生が環境に左右されず、自分らしい進路を選び取ることができる社会を目指しています。

<採択事業名 5>

農産物出荷補助アイテム

呉 敬馳 先進理工系科学研究科 情報科学プログラム 修士2年（代表者）

じゃがいも、人参、オクラなど、ある一定の重さに手作業で毎回揃えて個包装に積んでいる中小規模の農家さんをターゲットに、“あっと驚く方法”で解決する事業です。日本の農家さんが、生き生きと楽しく過ごせる社会を目指しています。

<ヒアリング審査当日の様子>

書面審査を通過した申請者は、審査委員の前で5分間ピッチを行いました。



ターゲット層に提供したいサービス等を、審査委員の前で5分間ピッチをする学生達

ひろしま好きじゃけんコンソーシアム (Hiroshima LOVE it Consortium)について

産学官金がデジタルツールでつながることで、簡単・迅速に課題解決が可能となることを目指す次世代型のコンソーシアムです。

デジタルトランスフォーメーションを駆使し、「大学シーズと企業ニーズの迅速なマッチング」「産学協働による起業家人材育成・人材交流」「学生支援GAPファンド・フェローシップ支援」「起業支援・起業後支援」等を迅速かつ効果的に運用し、広島で地方創生のモデルケースをつくることを目的としています。

ひろしま好きじゃけんコンソーシアム Hiroshima LOVE it Consortium

大学の情報が知りたい!

女性起業家を支援したい!

自社の社員教育を支援してほしい!

次を担う若手を支援したい!

国の補助金を一緒に取りたい!

海外の企業とつながりたい!

大学と共同研究したい!

産学連携のノウハウが知りたい!

イノベーションを起こしたい!

大学とつながりたい!

色々な組織とつながりたい!

簡単・迅速につながる!

Slackで気軽に質問

学生特別インターンシップ

社員教育デジタルオンライン講義

大学出向・クロスアポイントメント

社会課題プロジェクトに共同参加

最新のビジネス・研究情報をゲット

複数の組織と大学で共同研究

SDGsプロジェクトに参加

ひろしま
好きじゃけん
コンソーシアム

DXでつなぐ

広島大学
学長
越智 光夫
ひろしま好きじゃけんコンソーシアム
会長

広島大学
副学長(産学連携担当)
田原 栄俊
ひろしま好きじゃけんコンソーシアム
副会長

株式会社Rejoui
代表取締役社長
菅 由紀子
ひろしま好きじゃけんコンソーシアム
ダイバーシティ推進副会長

株式会社アスカネット
専務取締役CFO/公認会計士
功野 顕也
ひろしま好きじゃけんコンソーシアム
副会長

①県内最大規模のオープンイノベーションプラットフォームの提供

②大学の最先端オンライン授業の聴講が可能

③大学発ベンチャーに特化したチャンネルを設立

④「ひろしま大学応援企業」として特別傍聴券を配布、大学を起点として広く発信

<https://www.sukijyaken.jp>

HPから簡単に申し込みます
どなたでも申し込みます!

令和 3 年 12 月 24 日

コロナ研究を行う若手医学研究者を対象に
「広島ロータリークラブ賞」を創設

広島大学は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症対策の研究を推進する目的で、広島ロータリークラブ（2021-2022 年度：檜山典英 会長）より「広島ロータリークラブ 90 周年記念事業」の一環として、令和 4 年 2 月 5 日（土）に寄付の贈呈をいただくことになりました。

本学は、COVID-19 感染症対策の研究を行う研究者のうち、特に、社会実装を計画している優れた若手研究者を支援するため、「広島ロータリークラブ賞」を創設し、研究助成事業を行うこととしました。広島ロータリークラブと広島大学が手を携えて、COVID-19 をはじめとした感染症に対する次世代の研究者を育成してまいります。

本学の COVID-19 に関連した学術水準を世界トップレベルに発展させるためには、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を早い段階から顕彰し、その研究意欲を高め、研究の発展を支援していく必要があります。

本学では、PCR 検査体制の確立、ウイルス治療薬の探索、ウイルス検査方法の簡便化など幅広い研究分野で新型コロナウイルスに立ち向かうべく、医学・歯学・薬学・保健学の研究室が一丸となって、基礎研究や応用・開発研究に取り組んでいます。

（広島ロータリークラブ賞の概要）

●対象分野

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症に関連した学術研究分野

●対象者

- ・広島大学霞地区で対象分野の研究を行う教員または大学院医系科学研究科の大学院生
- ・45 歳未満で、博士の学位を取得している若しくは博士の取得を目指す者

●助成期間及び対象人数

2022 年 4 月 1 日から 1 年間、2 人程度（1 件 100 万円を限度）

●事業年度

2022 年度から 5 年間の予定

【お問い合わせ先】

医療政策室

医療政策・医学系研究推進グループ 星出 隆昭

TEL:082-257-5947 FAX:082-257-5962

令和3年12月24日

「放射線災害・医科学研究拠点」が国際シンポジウム・ワークショップをオンラインで開催します

広島大学、長崎大学、福島県立医科大学によって平成28年4月に設置されたネットワーク型拠点「放射線災害・医科学研究拠点」は、令和4年2月に「第6回国際シンポジウム」・「第3回ワークショップ」をオンラインで開催します。

第6回国際シンポジウム（主管校：福島県立医科大学）

日時： 令和4年2月7日（月）13：00～17：35
場所： Zoomによるオンライン開催

「Risk Communication in Radiation Disaster – During Crisis and Reconstruction –（放射線災害におけるリスクコミュニケーション – 緊急時と復興時 –）」をテーマに、アメリカ、スウェーデン、中国、ドイツ、ノルウェーなどの研究者を交え、講演やセッション、ポスター発表を行います。

放射線や関連諸科学の分野で世界的に著名な研究者による最先端の学術成果を踏まえ、更なる放射線災害・医科学研究の学術的基盤の確立を目指します。

第3回ワークショップ（主管校：福島県立医科大学）

日時： 令和4年2月8日（火）13：00～16：00
場所： Zoomによるオンライン開催

全国の関連研究者から公募した共同利用・共同研究課題や3拠点機関が大学の枠を超えて連携し新たな課題に取り組んでいるトライアングルプロジェクトの成果発表に加え、ネットワーク型共同研究拠点間の連携に関する講演発表を行います。

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ
放射線災害・医科学研究拠点本部事務局
Tel： 082-257-5186
Fax： 082-255-8339

The 6th International Symposium of the Network-type Joint Usage/
Research Center for Radiation Disaster Medical Science

Risk Communication in Radiation Disaster

-During Crisis and Reconstruction-

February 7, Mon, 2022

WEB Symposium

Keynote Lecture

Peter M. Sandman

Radiation casualty medicine

Leif Stenke(Sweden) - Oral Session -
Masahiro Nakashima*
Kazuhiko Maekawa*

Low dose radiation effects and health risk study

Hiroshi Tauchi - Oral Session -
Guangming Zhou(China)*
Mike Atkinson(Germany)*

Social impact of a radiation disaster and radiological protection studies

Deborah Oughton(Norway) - Oral Session -
Chieko Kurihara*
Masaharu Tsubokura*

*VOD : Video on Demand

日時 2022年2月7日 13:00~17:35 (日本時間) **形式** オンラインシンポジウム (Zoom使用) **参加費** 無料

REGISTRATION



Please register through QR code or URL, after your registration, the symposium's organizing committee will send you a Zoom URL by email.

<https://forms.gle/r3ijXfRJGJCTmNTU8>

主催

ネットワーク型共同利用・共同研究拠点／放射線災害・医科学研究拠点
広島大学原爆放射線医科学研究所／長崎大学原爆後障害医療研究所
福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター

後援

放射線被爆者医療国際協力推進協議会 (HICARE)
長崎・ヒバクシャ医療国際協会 (NASHIM)

お問い合わせ先／Contact Information

福島県立医科大学医療研究推進課研究推進係

Fukushima Medical University Medical Research Promotion Division Research Promotion Section

☎ 024-547-1794 ☎ 024-581-5163 ✉ rs@fmu.ac.jp 🌐 <https://housai.hiroshima-u.ac.jp/>



令和3年12月24日

総合科学部国際共創学科の学生が
インターンシップを体験しました

広島大学総合科学部国際共創学科の2回目のグローバルインターンシップが終了しました。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況下でしたが、広島県内の多くの企業や団体にご協力いただき実施しました。

国際共創学科の3年次生は、2週間のインターンシップを通じてグローバルとローカルをつなぐ企業・団体で仕事を体験します。2021年は、35人の学生が本学科と提携を結ぶ県内の企業・団体で、また4人が自ら探したインターンシップ先で実習しました。様々な国籍と背景を持つ学生達は、商品開発、事業提案、イベント企画などに積極的に関わり、受入れていただいた企業・団体に少しでも貢献できるよう努力しました。

このグローバルインターンシップは、学生にとって国際舞台で必要な多角的視野と思考力を身につけられる重要な教育の場であるとともに、大学と地域の連携の機会を生み出しています。また、インターンシップの経験が卒業後の就職や進路選択につながった学生もいます。

【お問い合わせ先】

総合科学系支援室

IGS担当 村上尚子UEA

TEL:082-424-6564 FAX:082-424-8246

(2021年度) 総合科学部 国際共創学科 IGS Global Internship 県内実施実績

ご協力いただいた県内の企業・団体		実施人数	合計
インターンシップ提携企業・団体	行政・地域団体	9	<u>17企業・団体</u> 合計35名
	製造業	5	
	運輸業	3	
	情報・通信業	3	
	サービス業	11	
	非営利団体	4	
学生独自でインターンシップを依頼した企業	教育	1	<u>4企業・団体</u> 合計4名
	サービス業	3	